

■福島復興特集企画「もうひとつ先の私たちへ。~新たな未来へつづく浜通りのいま~」

原産協会ホームページでは、浜通り地域における復興にむけた変化や、

ふるさとの維持·再生にむけた取り組みなどを直接取材し、写真を中心に紹介しています。

http://www.jaif.or.jp/tag/fuku/

■「Web原子力産業新聞のメール配信サービス」

「Web原子力産業新聞」を毎日(土日祝日、および更新のない日は除く)メールにてお届けしています。

配信のお申し込み・お問い合わせは webnews@jaif.or.jp

■広報メールマガジン「原産協会メールマガジン」

原産協会の活動を会員をはじめ、多くの方々に知っていただくため、「原産協会メールマガジン」を 毎月25日頃メールにてお届けしています。

配信のお申し込み・お問い合わせは melmag@jaif.or.jp



一般社団法人 日本原子力産業協会

http://www.jaif.or.jp/



再稼働に向け新たな動き、福島第一廃炉も着々と

エネルギー基本計画見直しへ、バックエンド問題が一歩前進

2017年を振り返る

福島では避難区域の解除が進み、また、福島第一原子力発 電所でも、燃料デブリ取り出しに資する成果が上がるなど、廃炉 に向けて進展が見られた。

再稼働に関しては、原子力規制委員会の審査で、これまで PWRが先行していたが、BWRでも、「合格」との審査書案が取 りまとめられたほか、運転期間延長の認可申請もあった。

さらに、エネルギー政策では、2050年の長期的方向性を見据 えたエネルギー基本計画見直しの議論が始まったほか、高レベ ル放射性廃棄物の処分地選定に向け「科学的特性マップ」が 公表された。

進む福島の避難指示解除、 廃炉に向け原子炉格納容器内部調査も

福島の被災地では、飯舘村、浪江町、川俣町、富岡町で、避難指示解除準備区域および居住制限区域が4月までに解除された。これに合わせて、JR常磐線も一部区間を除いて運転が再開されるなど、インフラの整備が図られるとともに、行政による復興計画も具体化しつつある。また、除染作業も進み、廃棄物の中間貯蔵施設も10月に本格稼働となった。しかしながら、双葉町、大熊町を中心に避難指示が残されているほか、福島県産の農林水産物に対する風評被害など、さまざまな課題が山積している。

一方、福島第一原子力発電所の汚染水対策では、引き続き 浄化処理が進められるとともに、8月には1~4号機の建屋を取り



3号機燃料取り出し用カバー設置工事の模様(©東京電力HD)



経済産業省ホームページより引用(2017年4月1日現在)

囲む陸側遮水壁が完全閉合に向け凍結運転に入るなど、進捗が見られた。また、1~3号機で、原子炉格納容器の内部調査が行われ、水中遊泳式ロボットを活用した3号機では、その後の画像分析で、炉内構造物が確認されるなど、燃料デブリ取り出しを進める上での成果があった。使用済み燃料プールからの燃料取り出しに向けては、3号機でカバー屋根ドームの設置が始まり、11月には燃料取扱設備の搬入が行われるなど、着々と準備が進んでいる。

再稼働に向け4基が新規制基準をクリア、 BWRにも進捗

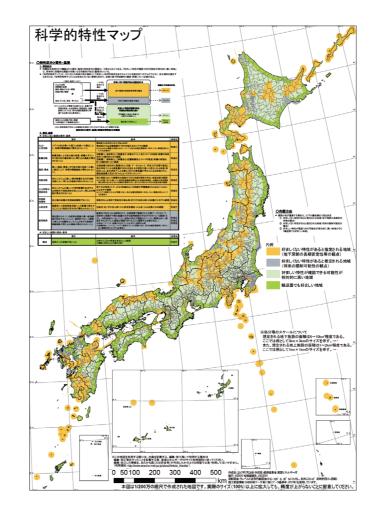
新規制基準への適合性については、この1年で、九州電力 玄海3、4号機、関西電力大飯3、4号機の計4基が原子炉設置 変更許可に至った。また、東京電力HD柏崎刈羽6、7号機で、 BWRとして初めて「合格」との審査書案が10月に取りまとめられている。このほか、核燃料加工施設でも、日本原燃のウラン濃縮工場などが審査をクリアした。

運転期間の延長では、今秋に運転開始から40年に達する日本原子力発電東海第二について、BWRとして初めて、60年までの延長認可が11月に原子力規制委員会に申請された。

また、司法判断により運転を停止していた関西電力高浜3、4 号機だが、3月に大阪高裁より運転差し止め仮処分を取り消す 判断が下され、それぞれ7月、6月に通常運転に復帰している。 新規制基準の施行から4年半が経過し、審査をクリアし再稼働 したプラントは、両機のほか、四国電力伊方3号機、九州電力川 内1、2号機で、計5基となっている。

「科学的特性マップ」が提示

高レベル放射性廃棄物の地層処分については、科学的適性



と輸送面を考慮し、全国地図を4区分に色分けした「科学的特性マップ」を7月に国が提示し、これをもとに、原子力発電環境整備機構とともに全国意見交換会を10月より開始している。

マップの提示を受けて、今後場所を選んでいくには、法律に基づき、段階を踏んだ詳細な処分地選定調査が必要となる。これをきっかけとして国民の関心が高まり、各地で高レベル放射性廃棄物処分問題について議論が進むことが期待される。

海外の動き

国際展開の関連で大きな動きとしては、日印原子力協力協定が7月に発効したことが挙げられる。これにより、平和利用を前提に、わが国が長年にわたり培ってきた原子力関連技術の輸出を通じ、インドの原子力発電の安全性向上や電力の安定供給に貢献することが可能となった。

世界に目を向けると、原子力発電の規模は拡大傾向にあり計439基・約4億600万kW(2017年1月現在)に上っている。殊に中国の躍進は目覚ましく、2016年に5基が営業運転を開始したのに続き、この1年も新たに2基が送電を開始しており、現在37基が稼働中。このほか、原子力新規導入国の開発計画も着実に進展しており、UAEでは2018年に導入初号機が完成する予定。また、バングラデシュが11月末に初号機の本格着工を果たしたほか、トルコ、サウジアラビアでも計画が進んでいる。

一方で、韓国では文在寅政権が6月に脱原子力政策を発表し、同様に、台湾でも1月に蔡英文政権が2025年までの脱原子力を法律で定めたが、いずれも産業界からは経済に与える影響などから、見直しを求める意見が出ている。

また、IAEAでは、9月の総会で天野之弥事務局長の3選が

承認された。引き続き、核不 拡散や核セキュリティーの強 化、福島第一原子力発電所 事故の教訓を踏まえた世界 の原子力安全向上に向け て、手腕を発揮することが期 待される。



天野IAEA事務局長が3選 (@Dean Calma IAFA)

2

→ 国内

- 6日 ●九州電力川内1号機が通常運転 に復帰、新規制基準をクリアし再 稼働後初の定期検査を終了
- 13日 ●原子力委員会、高速炉開発で見 解、核燃料サイクルの「戦略的柔 軟性」確保も
- 17日 日英原産協会他共催で「日英原子 力産業フォーラム」開催、廃炉や 新規建設に向け議論(~18日)
- 18日 ●九州電力玄海3、4号機が新規制 基準に合格との審査書決定
 - 規制委員会、関西電力豊松副社長 ら3事業者の幹部を招き、原子力 発電の課題について意見交換
- 20日 | 関西電力高浜2号機でクレーン倒 壊事故
- 30日 東京電力、原子力安全改革に対す る自己評価を公表
- 31日 ●文科省、原子力研究開発基盤作 業部会を始動

海外

- **9日** 米国、2021年までにインディアン ポイント原子力発電所の2基を早 期閉鎖へ
 - ●中国で36基目の商業炉となる陽 江4号機が送電開始
- 10日 ●英国、中国製原子炉の国内建設 に向け、規制当局が事前設計認 証審査開始へ
 - ●UAE、2050年までの長期エネルギ 一戦略策定、原子力で6%供給へ
- 11日 ●台湾、2025年までの脱原子力を盛 り込んだ改正電気事業法案可決
- 12日 ※ニュースケール社、米国で初め てSMR設計の認証審査申請
 - ●米規制委、SMR建設が計画されて いるクリンチリバー・サイトの事 前サイト許可審査を開始
- 13日 仏規制当局、日本鋳鍛鋼社製の SG機器備えた9基で再稼働承認
- **24日** 力ナダのテレストリアル社、独自 の小型溶融塩炉で米国の許認可 手続き開始へ
- 25日 チェコ、増設計画の加速で原子力 常設委に3つの作業部会設置

ニュースケール社がSMRのDC認証申請(1/12)

©米原子力規制委

→ 国内

- 2日 文科省、原子力機構施設の廃止 措置に関する作業部会を始動
- 4日 地海道電力泊発電所を対象に冬 季の暴風雪を想定した原子力総 合防災訓練実施
- 7日 ●原子力損害賠償・廃炉等支援機 構法改正案が閣議決定、福島第 一廃炉の着実な実施に向け積立 金制度を創設
 - ●原子炉等規制法他改正案が閣議 決定、検査制度改善など盛り込む
- 10日 福島復興再生特別措置法改正案 が閣議決定、帰還困難区域の除 染・インフラ整備を一体的に
- 13日 ●「アジア原子力協力フォーラム (FNCA) 」シンポが開催(東京)
- 16日 福島第一2号機で原子炉格納容 器内部調査実施
- 23日 エネ庁主催「原子力と安全につい て考えるワークショップ」開催
 - 規制委員会、「もんじゅ」の廃止措 置で安全監視チーム始動



→ 海外

- 2日 英大手労組、ムーアサイド計画の 資金調達で政府に介入要請
 - ●英政府が「Brexit」白書を議会に 提出、欧州原子力共同体からの離 脱も明記
- 7日 ※トランプ政権、原子力規制委は スビニッキ委員が委員長昇格
 - ●韓国の行政裁判所が月城1号機 の運転期間延長許可を取り消す 裁定
- 8日 ●スペイン規制当局、ガローニャ原 発の再稼働を条件付きで承認
- ●原子放射線の影響に関する国連 科学委員会(UNSCEAR)が発電技 術ごとの被ばく線量を比較調査
- 14日 ※ 米SMR開発企業連合、官民連携に よる商業化を要請
- 15日 ●英ホライズン社、原発の運営能力 増強で米エクセロン社と提携
- 16日 ロシア、鉛冷却高速実証炉を含め た「ブレークスルー」計画で90億 ルーブル投資
- 28日 ●ロシアで31基目の商業炉・ノボボ ロネジ6号機が営業運転

営業運転を始めたロシアのノボボロネジ6号機

©ロスエネルゴアトム社(2/28)



- 4日 原産協会、学生向け合同企業説 明会「原子力産業セミナー」を東 京で開催(11日には大阪で開催)
- 7日 東京電力、中部電力、北陸電力が 原子力安全向上に係る相互技術 協力協定を締結
- ●科学技術振興機構他、将来の廃 炉技術開発に向け、若手が研究 成果を披露する技術カンファレン スを東工大で開催
- 18日 ●福島第一1号機で原子炉格納容 器内部調査実施、燃料デブリ取り 出しに向けデータ取得(~22日)
- 20日 日仏首脳会談、高速炉協力の深化 など盛り込む「原子力協力意図表 明」署名
- 21日 ●規制委員会、原子力安全推進協会 の松浦理事長と意見交換
- 30日 エネ庁WG、将来の高速炉開発に 向けた戦略ロードマップ策定に 向け初会合
- 31日 ●飯舘村、浪江町、川俣町の避難指 示が解除(帰還困難区域を除く)

- **海外**
- **14日** イランのブシェール原発で II 期工 事の建設工事開始
- 15日 ●中国36基目の商業炉・陽江4号機 が営業運転開始条件達成
- 16日 ※ 米トランプ政権の2018年度予算 案、ユッカマウンテン処分場計画 に予算措置
 - ●サウジアラビア、中国製高温ガス 炉のフィージビリティー・スタディ 一実施へ
- **27日** 英ヒンクリーポイントC計画で最 初の部分的建設許可発給
- 29日 WH社、倒産法に基づく再生手続 き申請、事業者は建設プロジェク ト再評価へ
- **30日** ●WH社製AP1000が英国の事前設 計認証審査をクリア
- 31日 ●ハンガリー、パクシュ5、6号機建設 計画にサイト許可
 - ●インド、クダンクラム2号機が営業 運転開始
 - 米ホルテック社、使用済み燃料集 中中間貯蔵施設の建設許可を申 請



学生向け合同企業説明会「原子力産業セミナー」の模様



処分場計画があるユッカマウンテン(3/16)©米エネ省



「原子力と安全について考えるワークショップ」が開かれ

新規制基準適合性の審査状況 2017年11月30日現在

新規制基準に合格した玄海3、4号機(1/18)©九州電力

	発電所	炉型	新規制基準適合性に係わる審査		
電力会社			提出日	審査状況 (設置許可日)	
北海道電力	泊1	PWR	2013.7.8	審査中	
	泊2	PWR	2013.7.8	審査中	
	泊3	PWR	2013.7.8	審査中	
東北電力	女川1	BWR			
	女川2	BWR	2013.12.27	審査中	
	女川3	BWR			
	東通1	BWR	2014.6.10	審査中	
東京電力	福島第二1	BWR			
	福島第二2	BWR			
	福島第二3	BWR			
	福島第二4	BWR			

		炉型	新規制基準適合性に係わる審査	
電力会社	発電所		提出日	審査状況 (設置許可日)
	柏崎刈羽1	BWR		
	柏崎刈羽2	BWR		
	柏崎刈羽3	BWR		
市方電力	柏崎刈羽4	BWR		
東京電力	柏崎刈羽5	BWR		
	柏崎刈羽6	ABWR	2013.9.27	審査書案まとめ(2017.10.4)
	柏崎刈羽7	ABWR	2013.9.27	審査書案まとめ(2017.10.4)
	東通1(建設中)	ABWR		
中部電力	浜岡3	BWR	2015.6.15	審査中
	浜岡4	BWR	2014.2.14	審査中
	浜岡5	ABWR		
11.01+25.4	志賀1	BWR		
北陸電力	志賀2	ABWR	2014.8.12	審査中

発電所	炉型	新規制基準適合性に係わる審査		稼働開始日
		提出日	審査状況 (設置許可日)	(原子炉起動)
美浜3	PWR	2015.3.17	終了(2016.10.5)	
高浜1	PWR	2015.3.17	終了(2016.4.20)	
高浜2	PWR	2015.3.17	終了(2016.4.20)	
高浜3	PWR	2013.7.8	終了(2015.2.12)	2016.1.29
高浜4	PWR	2013.7.8	終了(2015.2.12)	2016.2.26
大飯1	PWR			
大飯2	PWR			
大飯3	PWR	2013.7.8	終了(2017.5.24)	
大飯4	PWR	2013.7.8	終了(2017.5.24)	
島根2	BWR	2013.12.25	審査中	
島根3(建設中)	ABWR			
	美浜3 高浜1 高浜2 高浜3 高浜4 大飯1 大飯2 大飯3 大飯4 島根2	美浜3 PWR 高浜1 PWR 高浜2 PWR 高浜3 PWR 高浜4 PWR 大飯1 PWR 大飯2 PWR 大飯3 PWR 大飯4 PWR 島根2 BWR	発電所 炉型 美浜3 PWR 2015.3.17 高浜1 PWR 2015.3.17 高浜2 PWR 2015.3.17 高浜3 PWR 2013.7.8 高浜4 PWR 2013.7.8 大飯1 PWR 大飯2 PWR 大飯3 PWR 2013.7.8 大飯4 PWR 2013.7.8 島根2 BWR 2013.12.25	発電所 炉型 提出日 審査状況 (設置許可日) 美浜3 PWR 2015.3.17 終了 (2016.10.5) 高浜1 PWR 2015.3.17 終了 (2016.4.20) 高浜2 PWR 2015.3.17 終了 (2016.4.20) 高浜3 PWR 2013.7.8 終了 (2015.2.12) 高浜4 PWR 2013.7.8 終了 (2015.2.12) 大飯1 PWR 大飯2 PWR 大飯2 PWR 2013.7.8 終了 (2017.5.24) 大飯4 PWR 2013.7.8 終了 (2017.5.24) 島根2 BWR 2013.12.25 審査中

			新規制基準適	合性に係わる審査	· 稼働開始日
電力会社	発電所	炉型	提出日	審査状況 (設置許可日)	(原子炉起動)
四国電力	伊方2	PWR			
四国电기	伊方3	PWR	2013.7.8	終了(2015.7.15)	2016.8.12
	玄海2	PWR			
	玄海3	PWR	2013.7.12	終了(2017.1.18)	
九州電力	玄海4	PWR	2013.7.12	終了(2017.1.18)	
	川内1	PWR	2013.7.8	終了(2014.9.10)	2015.8.11
	川内2	PWR	2013.7.8	終了(2014.9.10)	2015.10.15
日本原子力発電	東海第二	BWR	2014.5.20	審査中	
口本原丁刀光电	敦賀2	PWR	2015.11.5	審査中	
電源開発	大間(建設中)	ABWR	2014.12.16	審査中	

審査終了(原子炉起動)

新規制基準適合性に係わる審査中

[凡例]

わが国と世界の原子力界 主な動き 2017

→ 国内

- 1日 **富岡町の避難指示が解除(帰還** 困難区域を除く)
- 5日 ●グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパンの加工施設が新規制基準に合格との審査書決定、核燃料加工施設で初
- **11日** ●第50回原産年次大会開催、基調 テーマ「いま、過去を未来へ結ぶ」 (~12日)
- 12日 近畿大学研究炉が運転再開、新規制基準審査申請から2年半ぶり
- 13日 ●日本原子力発電、米エクセロン社 と合弁会社設立、英ウィルヴァ・ニューウィッドの運転・保守支援に 向け
- 19日 ●規制委員会、原子力発電プラント 5基(九州電力玄海1号機、日本原 子力発電敦賀1号機、関西電力美 浜1、2号機、中国電力島根1号機) の廃止措置計画を認可
 - ●核融合科学研、大型ヘリカル装置 の重水素実験で1億度超の温度 達成を発表
- 23日 ●原子力機構「廃炉国際共同研究 センター国際共同研究棟」が開所 (富岡町)
- 24日 ●佐賀県の山口知事、九州電力玄 海3、4号機の再稼働に同意
- 27日 ●原子力安全推進協会「アニュアルカンファレンス」開催、現場の安全性向上の取り組みなどが報告



第50回を迎えた原産年次大会、「過去・現在・将来における原子力の役割」に関するセッションの模様(4/11)

⇒ 海外

- 3日 ●欧州原産連合、ユーラトム離脱の 英国に移行期間の代替取り決め を勧告
- **4日** ●英ムーアサイド原発建設計画の 共同出資企業が撤退表明
- 6日 ●仏EDF理事会、フェッセンハイム 原発の永久閉鎖条件承認
- **12日** ●米国の2つの原発増設プロジェクト、完成までの追加経費は計40億ドル
- 14日 ●仏規制当局、アレバ社傘下のクル ーゾー社の操業再開条件を特定
- **17日** ●米エネ省、メリーランド大・研究炉 の運転継続に協力
- 18日 ●米規制委、小型炉等の緊急時対 応要件策定で規制根拠のパブコ メ開始
- 19日 ●米エネ省長官、信頼性のあるベースロード電源確保で電力市場の調査指示
- 26日 ●南アの高等裁、政府の原子力新設 計画を違法と裁定
- 28日 ●米ボーグル、サマー両増設計画の 事業者、WH社との中間評価協定 を延長



メリーランド大学(UMD)の研究炉(4/17) ©UMD

→ 国内

- 9日 ●「全国原子力発電所所在市町村 協議会」定例総会開催、政府関係 者と意見交換
- 17日 ●六ヶ所ウラン濃縮工場が新規制 基準に合格との審査書決定
- 18日 ●東京電力「新々・総合特別事業計画」が国より認定
 - ●日・ポーランド外相会談、高温ガス炉技術の協力深化を含む行動計画
- 19日 ●日本原子力発電、東海第二の運転 期間延長審査に必要な安全性評 価を開始
- 22日 ●関西電力高浜4号機が5年10カ月 ぶりに発電再開、昨年原子炉起動 まで至るも司法判断などにより中 断
- 23日 ●規制委員会、RIテロ対策に関する 法改正整備受けアイソトープ協会 と意見交換
- 24日 ●関西電力大飯3、4号機が新規制 基準に合格との審査書決定
- 30日 ●文科省、「もんじゅ」廃止措置評価 で専門家会合始動



廃止措置に向かう「もんじゅ」(5/30)

→ 海外

- 8日 ●独GNS社、使用済燃料の中間貯蔵 事業を連邦政府に移管
- 12日 ●米ボーグル増設計画の事業者、 WH社からプロジェクト管理業務 引き継ぎへ
- **15日** ●仏マクロン大統領、新首相に元ア レバ社幹部のE.フィリップ議員指 名
- 17日 ●アルゼンチン、4基目と5基目の原 子炉建設で中国と一括請負契約
 - ●インド内閣、技術の国産化促進で 加圧重水炉10基の建設承認
- 21日 ●スイス、国民投票で段階的な脱原 子力政策含む改正エネルギー法 承認
- **22日** ●米トランプ大統領、A.カプト氏と D.ライト氏を原子力規制委員に 指名へ
- 23日 ●米トランプ政権初の予算教書、ユッカマウンテン計画を復活、SMR商業化支援は打ち切り
- **29日** ●米エクセロン社、TMI1号機を 2019年に早期閉鎖へ
- 31日 ●米規制委、ノースアナ3号機増設計画の建設・運転一括認可(COL)発給を決定



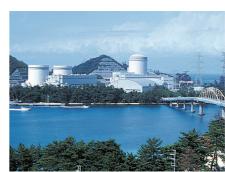
新首相に指名された元アレバ社幹部のE.フィリップ氏(5/15)©フランス政府

→ 国内

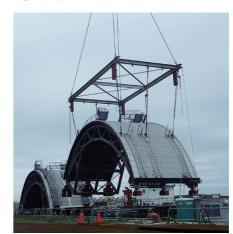
- 2日 ●エネ庁、エネルギー白書を公表、 福島第一廃炉は「着実に進捗」と 評価
- 6日 ●原子力機構大洗研究開発センターで、核燃料物質を封入した袋が破裂し作業員5名が汚染
- 8日 ●関西電力美浜3号機の60年運転 に向けた安全性向上対策工事計 画を発表
- 13日 ●政府、「もんじゅ」廃止措置に向けた基本方針を決定
- 14日 ●東京電力と日本原子力発電、原子 力災害時の相互協力協定を締結
- **16日** ●関西電力高浜4号機が通常運転 復帰
- 27日 ●福島第一3号機使用済燃料取り出 しに向けカバードーム屋根の設 置開始
- 30日 ●エネ庁主催の「原子力発電所廃 止措置に関する国際ワークショッ プ」が開催
 - ●原子力機構、東海再処理施設の 廃止措置計画認可を規制委員会 に申請

> 海外

- **1日** ●インド、クダンクラム5、6号機増設でロシアと一般枠組み協定
- 2日 ●小型高速炉設計「PRISM」の商業 化に向け、米企業がチーム結成
- 7日 ●独憲法裁判所、核燃料税は違憲と 判断、約63億ユーロが3事業者に 返還へ
- **17日** ●スウェーデンのオスカーシャム1 号機が永久閉鎖、3号機は経年化対応プログラム義務付け
- 18日 ●韓国、商業炉としては初めて、古里 1号機が予定どおり永久閉鎖
- 19日 ●韓国の新大統領、脱原子力政策へ の転換を宣言
 - ●カナダのテレストリアル社、溶融 塩炉・商業用初号機の立地FSを 国内で開始
- 27日 ●米エネ省長官、「トランプ政権は原子力分野で世界的リーダーへの復帰を目指す」と明言
- **29日** ●パキスタンのチャシュマ4号機が 初併入
 - ●インドでクダンクラム3号機が本 格着工



美浜3号機(写真右)、60年運転に向け安全性向上対策 工事へ(6/8)



福島第一3号機で使用済み燃料取り出しに向けドーム屋根設置へ(6/27)



脱原子力政策を宣言する文在寅大統領(6/19) ②韓国大統領府

1日 ●原子力委員会、2016年末のプルト

再稼働で前年より1トン減少

2日 ●規制委員会、IAEA総合規制評価

ニウム総量を公表、プルサーマル

サービス (IRRS) のフォローアップ

ミッションの受け入れ準備開始を

任後初開催、避難方法など3事案

年半ぶりに開催、エネルギー基本

決定、2019年夏以降の見通し

8日 ●新潟県の技術委員会、米山知事就

9日 ●総合エネ調「基本政策分科会」が1

29日 内閣府、放射線利用の経済規模

30日 ●エネ庁、2050年を見据えた「エネ

ルギー情勢懇談会」を始動

31日 ●原子力損害賠償・廃炉等支援機

規制委員会、東京電力会長らと意

見交換、原子炉設置者としての適

構、新たな廃炉技術戦略プランを

公表、燃料デブリ取り出しの方向

調査結果を10年ぶりに公表

●京都大学研究炉「KUR」が運転再

開、新規制基準審査申請から約3

の検証へ

計画見直しへ

年ぶり

格性判断へ

性など示す

→ 国内

→ 国内

- 2日 ●原子力損害賠償・廃炉等支援機 構、第2回「福島第一廃炉国際フォ ーラム」を開催(~3日、いわき市
- 4日 関西電力高浜3号機が通常運転 復帰
- 6日 九州電力、川内1号機の安全性向 上評価を規制委員会に提出、初の
 - ●関西電力、高浜3、4号機の本格運 転再開を受け電気料金値下げを
- 10日 規制委員会、東京電力会長らと原 子力に取り組む姿勢について意 見交換
- 12日 ●規制委員会、検査官の能力向上な どに向け資格制度導入を決定
- 19日 福島第一3号機の原子炉格納容 器内部調査で「溶融物が固化した と思われるもの」を確認、水中遊 泳式遠隔操作ロボット活用(~22
- 20日 ●日印原子力協力協定が発効(6月7 日に国会承認)
- 21日 原子力委員会がまとめた「原子力 利用に関する基本的考え方」が閣 議決定
- 24日 日本エネルギー経済研究所、 2018年の需給見通しを発表、「原 子力再稼働のペースは3Eの改善 を左右」
- 28日 高レベル放射性廃棄物地層処分 に関する「科学的特性マップ」が 提示、処分地選定に向け全国各地 の対話活動へ



福島第一3号機の原子炉格納容器内部調査で活躍した 水中遊泳式遠隔操作ロボット (7/19) ©東京電力

海外

- 10日 仏環境相、2025年までに最大17 基の閉鎖可能性表明
- 14日 ●韓国KHNP社、政府要請受け、新 古里5、6号機の準備工事を3カ月
- でカナダのSNCラバリン社と協力
- 19日 英ホライズン社、新規原子力発電 所の運転員訓練でスペインのテ クナトム社と協力
- 21日 米国、SMRなどの開発促進で先進 的原子力製造センター開設
- **24日** ポーランド、原子炉建設で中国と 協力する可能性を協議
- 25日 サウジアラビア内閣、大型炉建設 含む国家原子力プロジェクトの立 ち上げ承認
- 28日 ●韓国KHNP社、日立が英国で進め る新設プロジェクトへの資本参加
- 31日 ※V.C.サマー増設計画でオーナー 企業が2基とも断念

ホライズン社がテクナトム社と運転員訓練で協力(7/19) ©ホライズン・ニュークリア・パワー社

●中国37基目の商業炉・福清4号機 が初併入



海外

- 3日 ●ウクライナで建設中の使用済み 燃料中間貯蔵施設がコールド試 験段階に
- 7日 ●IAEA、世界の原子力開発規模は 2050年まで引き続き拡大する可 能性
- **8日** ●米規制委、ユッカマウンテン計画 の審査再開準備で情報収集指示
- **16日** ●カナダ原研、SMR実証炉の国内建 設について15件以上の関心表明
- 21日 ●トルコ、アックユ原子力発電所建 設計画は2018年初頭に着工の見 通し
- 25日 ※デューク社、建設・運転認可取 得済み(ウィリアム・ステーツ・リ 一)計画の取り消しを州に要請
- 28日 《米GEH社、ARC社製·Na冷却小型 高速炉「ARC-100」の商業化に協 力
- 29日 IAEAの低濃縮ウラン備蓄バンクが カザフスタンで完成
 - 米デューク社、フロリダ州の認可 取得済み(レビィ・カウンティ)プ ロジェクトの取り消し決定

国名

アルゼンチン、ブラジル、 フィンランド、フランス、インド、

スロバキア、ウクライナ、米国

アルメニア、カナダ、チェコ、

ベルギー、スペイン、スイス

ドイツ

拡大計画等の方針を表明済みの国々リスト(8/7) ©IAEA

| ハンガリー、イラン、ルーマニア | 南アフリカ、英国

中国、フィンランド、インド、日本 韓国、ロシア、パキスタン、米国

31日 ●米サザン社、ボーグル3、4号機の 建設続行・完成を州政府に提案

カテゴリー

新規原子炉を建設中

新規原子炉を建設中

および追加の建設も

ないが、新規の 建設を検討中

確定政策として

既存炉を閉鎖へ

原子炉の新設禁止 確定政策として

検討中 建設中原子炉は

→ 国内

- 3日 ●九州電力玄海発電所を対象に原 子力総合防災訓練実施(~4日)
- **11日** ●2016年度CO₂排出量が原子力 再稼働などにより前年度2.4%減、 「電気事業低炭素社会協議会」 発表
- 12日 関西電力、大飯と高浜の両発電所 の同時発災を想定した事故制圧 対応訓練を実施
- 14日 ●原子力委員会、原子力白書を7年 ぶりに刊行
- 20日 ●規制委員会、原子力発電プラント の運転期間延長の申請期間を改
- 22日 ●規制委員長が交替、更田新委員長 「安全の追求に終わりはないとい う初心忘れず」と語る
- 26日 ●福島第一廃炉に向けた中長期口 ードマップが2年ぶりに改訂、使 用済み燃料取り出し開始時期が 先送りに
- 28日 ●福井県議会、関西電力大飯3、4号 機の再稼働に向け意見書可決

海外

- 1日 豪州の鉱業評議会、原子力禁止 条項の撤廃を政府に提言
- 4日 ●エジプト、ロシア製原子力発電所 の建設契約に向けた手続きが完
- 8日 ●パキスタンでチャシュマ4号機が 正式完成、2030年までに原子力 で880万kW追加へ
- **12日** ●英企業連合、SMR開発への支援を 政府に要請
- 18日 ●IAEA総会、天野事務局長の3選が 承認(~22日、ウィーン)
 - ●中国で37基目の福清4号機が営 業運転、福清 | 期工事がすべて完
- 19日 ●中国、年内に完成予定の高温ガス 炉実証炉で大気汚染改善へ
- **25日** ●UAE、「今後30年間のエネ政策で 原子力優先」を再確認
- 28日 ※パリセード原子力発電所、早期 閉鎖から一転、2022年まで運転 継続へ
- **29日** ●米エネ省、ボーグル3、4号機建設 計画に37億ドルの追加保証を提
 - 米エネ省長官、送電網の回復力 保全で原子力支援を連邦エネ規 制委に指示



規制委員会、更田新委員長が就任(9/22)

|--|--|--|--|--|

運転継続となった米パリセード原発(9/28) ©エンタジー社

放射線利用の経済規模(2015年度)

内閣府が10年ぶりに放射線利用の経済規模調査を実施

8

October

→ 国内

November

December

→ 国内

- 3日 ●原子力委員会がプルトニウム利用 について解説文書をまとめ、海外 発信へ
 - ●ビゴITER機構長招き、核融合エネ シンポが開催(東京)
- **4日** ■ICEF年次総会開催、地球温暖化問 題の解決に向け国際的議論(~5 日、東京)
 - ●規制委員会が東京電力柏崎刈羽 6、7号機で新規制基準に合格との 審査書案まとめ、BWRで初
- 6日 ●青森県六ヶ所量子科学センター が開所
- 10日 ●規制委員会が日本原燃社長から ヒア、六ヶ所再処理工場の新規制 基準審査中断へ
- 18日 ●「科学的特性マップ」に関する全国 意見交換会が東京を皮切りに始ま
- 24日 ●電力各社社長、世耕経産相に使 用済み燃料貯蔵対策の取り組み 状況を説明
- 27日 ●東京電力の小早川社長が新潟県 の米山知事を訪れ、柏崎刈羽6、7 号機の審査結果について説明



運転差し止めに関する裁判ニュースピックアップ 2017年12月13日現在

山口地裁岩国支部、伊方3号運転差し止めの仮処分申し立て 大阪高裁、高浜3、4号運転差し止めの仮処分取り消し

広島地裁、伊方3号運転差し止めの仮処分申し立てを却下

大阪地裁、高浜3、4号運転差し止めの仮処分申し立て

松山地裁、伊方3号運転差し止めの仮処分申し立てを却下

佐賀地裁、玄海3、4号運転差し止めの仮処分申し立てを却下(2011年申立)

●27日 佐賀地裁、玄海3、4号運転禁止の仮処分申し立て

●13日 広島高裁、伊方3号運転差し止めの仮処分を決定

4回目の開催となったICEF年次総会(10/4)

海外

- 5日 ●UAEの導入初号機起動に先立ち、 IAEAが運転安全評価レビュー
- 6日 ●サウジアラビア、原子力導入計画 でロシアと中小型炉の協力プロ グラムに調印
- 10日 ●米環境保護庁長官、オバマ政権の クリーン・パワー・プラン撤廃を提 案
 - ●韓国政府、産業界の原子炉輸出を 積極的に支援
- **13日** ●南ア、新設候補サイトの1つが環 境影響評価をクリア
- 20日 ●韓国の公論化委、新古里5、6号機 の建設再開を政府に勧告
 - ●トルコ原子力庁、アックユ建設計 画に部分的建設許可発給
- 22日 ●韓国大統領、公論化委勧告に基づ き、新古里5、6号機の建設再開表
- 25日 ●韓国政府、脱原子力などエネルギ 一転換政策のロードマップを閣 議決定
- **31日** 米コネチカット州でミルストン原 子力発電所への財政支援に道を 拓く法案成立

韓国•新古里5、6号機完成予想図(10/22)

©韓国水力·原子力会社

- 9日 ●福島第一、3号機使用済み燃料取 り出しに向け燃料取扱機が搬入
- 15日 ●経団連がエネルギー政策で提言、 原子力の再稼働や運転期間延長 とともに新増設も
- 20日 エネ庁が2016年度のエネルギー 需給実績発表、原子力再稼働など によりCO2排出量が3年連続減少
- 22日 東京電力、柏崎刈羽6、7号機を対 象に実施したIAEA運転安全調査 団 (OSART) によるフォローアップ 調査の評価報告書を公表
- 24日 日本原子力発電が東海第二の60 年までの運転期間延長認可を規 制委員会に申請
- 27日 福井県の西川知事が大飯3、4号 機の再稼働に同意
- 30日 ●福島第一、3号機原子炉格納容器 内部調査の画像分析で炉内構造 物が確認



福島第一の使用済み燃料取り出しに向け搬入される燃 料取扱機(11/9)©東京電力

海外

- 1日 ●スイス、深地層処分場候補エリア のボーリング調査申請について パブコメ開始
- 6日 ●カナダ、使用済燃料の深地層処分 場候補地でボーリング調査開始
- **9日** 英ロールス・ロイス社、ヨルダンで のSMR建設でFS実施覚書
- 13日 ※ドミニオン社、ノースアナ原子 力発電所で2回目の運転期間延 長申請へ
- **14日** ●IEA、WEO最新版で世界のエネル ギー・システムは再生エネ中心に 移行と予測
- 15日 ●フィリピン、原子力開発プログラ ムの復活に向けロシアと協力覚
- 16日 英国で中国製 華龍一号」設計の 認証審査が第2段階に進展
- 27日 ●英政府、新しい産業戦略の中で原 子力を不可欠かつ重要と位置付 1+
- 28日 ●英国の新設計画への韓国企業参 加を両国政府が支援
- 30日 ●バングラデシュでロシア製の導 入初号機が本格着工



カナダ:深地層処分場候補地として初期選定で良好と判 (11/6)©カナダ核燃料廃棄物管理機関

→ 国内

6日 原子力機構、「もんじゅ」廃止措置 計画認可を規制委員会に申請

7日 電中研が2030年エネルギーミッ クスで経済評価、原子力比率7% 減で実質GDP2.7兆円減

海外

- 4日 ●英原産協会、民生用原子力部門に よる英国経済への貢献は64億ポ ンドと報告
- 7日 東芝保有の英NuGen社株売却で 韓国電力が優先交渉権獲得

「2017年入会会員のご紹介]

(組織名の50音順)

■株式会社AREVA ATOX D&D SOLUTIONS

原子力施設の高放射線環境の測定・評価技術、 遠隔技術、除染・撤去等の線量低減技術等の D&Dに関する技術開発、エンジニアリング

■コベルコスタズビック株式会社

原子力発電所で使用した機器の海外処理・リサ イクルの受託、原子力発電所で使用した機器の 処理・リサイクル施設の設計・ライセンス、使用 済樹脂等処理プロセスの設計・ライセンス

■石巻市

東日本大震災では未曾有の被害が出て大災害と なったが、全国から心温まる支援を受け、市民-丸となり更なる発展に向けて歩んでいる

■新日鉄興和不動産株式会社

不動産の開発・賃貸、分譲・売買・仲介・鑑定・コ ンサルティング、不動産証券化商品の企画・出資

■株式会社エイブル

原子力発電所(BWR/PWR)を含む発電プラント、 一般産業プラントの建設およびメンテナンスお よび各種ロボット研究・開発

■通研電気工業株式会社

電気・電子通信機器等の製造ならびに販売、通 信設備等の設計工事および保守

ENERTOPIA Japan KK

原子力を含むエネルギー、宇宙、航空、電気通 信、石油化学および鉄道等のあらゆる分野の産 業プロジェクトのための技術製品、機器の輸出、 輸入および流涌

■クニミネ工業株式会社

ベントナイト等の粘土類および岩石の採取加工 および販売、水処理剤、廃汚泥水処理剤および 処理装置の製造·販売

■東光鉄工株式会社

TOKOドーム、防災シェルター、建築鉄骨、橋梁、 水門、クレーン、土木製品、各種機械装置設計製 作、農業用ドローンの開発・製造

■ポニー工業株式会社

各種非破壊検査装置ならびに放射線計測装置 等の製造・販売・輸入、医薬品自動検査システム 等の開発・製造、放射線管理業務、放射線測定器 校下業務

★入会についてのお問い合わせは 地域交流部 TEL:03-6256-9314 e-mail:kaimu@jaif.or.jp

表紙写真について



- ●WNAシンポジウム、原子力による本格的貢献の 実現に向け一層の努力を提言(英国, 2017年9月)
- 2JR常磐線 竜田駅 冨岡駅間が6年半ぶりに運転再開
- 3第61回IAEA総会での福島除染・廃炉関連サイドイベント (ウィーン、2017年9月) **④**第50回原産年次大会・若手特別セッション
- 「若手が語る原子力の未来・夢」(2017年4月)
- ⑤ATOMEXPO2017、地球環境問題と原子力の役割など 4つのテーマについて議論(モスクワ、2017年6月)
- ⑥第61回IAEA総会・併催展示会(日本ブース) (テーマ: Life, Safety and Prosperity/ウィーン、2017年9月)
- プコズロドイ発電所に向うソフィア街中の市場 (ブルガリア、2017年10月)
- ❸4基が建設中のUAFの夕暑
- **⑨**産業界対象の英国廃棄物管理・廃止措置サイト視察 (ウィンフリス、2017年2月)

2017年12月7日現在 政策・コミュニケーション部作成

10

【1月】

【3月】

●30日

[6月]

●13日

【7月】

● 6日

-21日

【12月】